

一何年月日何種被申付(月給何圓)(何職被免)(何省(府)縣)
一何年月日何種賞典何々下賜
一何年月日何種科(依)何種被申付
右之通相違無之候也

本人 姓名 印
右身元引受人 姓名 印
年號月日
前書之通相違無之候也
(戸長アヲケル地(區)長)

第十三條 看護長看護卒及ヒ華士族平民共檢査ノ上定格
左ノ如シ 第一財年檢査以下ノ者 第二財年檢査 第三財年檢査
第四財年檢査 華士族平民ヨリスル者檢査合格ノ上
入學ヲ命スル者ハ父兄親族其他一家ヲ成ス身元健ナル者
二名(東京居住ノ者限ル)ヲ身元引受人ト爲シ官費ノ者
ハ左式第一號自費ノ者ハ第二號ノ入學證書ヲ差出サシム
第一號證書式用紙證券界紙第二號證書式ニ同シ
軍醫講習生入學證書

陸軍出身者ハ付此度軍醫講習生官費入學許可相成
候ニ付テハ御規則檢査ニ相違ナシ陸軍ニ從事可仕萬一
學術不勉強又ハ品行不正等ニテ退學ヲ命セラレ候節ハ
入學中ノ費用一切辨償仕若シ本人上納難致節ハ引受
人ヨリ相納申日本人身元引受人ニ依テ身元引
受人ハ於テ引受可申依テ引受人連署證書如此候也
(以下次號)

○(警視廳東京府)布達甲第十二號
本年六月甲第九號布達小形旅客汽船取締規則左之通起
加ス
第三十五條 小名木川及新川江戶川筋ヲ航行スル汽船
ノ烟筒ニハ左ノ圖式ノ噴火止(英名Spark-Arrestor)
(器械)ヲ施ス可シ
(圖式略ス)
警視廳總監 山崎紀代理
警視副總監 綿貫吉直
東京府知事 芳川顯正
明治十六年七月十二日

叙任賞勳

二月廿八日
陸軍歩兵中尉從七位 木越 實綱
陸軍工兵中尉從七位 海津 三雄
陸軍歩兵少尉正八位 三戸 信義
七月十一日
陸軍學校校幹事 相植 善吉

時事新報

製造業ヲ保護スベシ(前號ノ續)
入試ノ期ヲ專賣免許ノトナル百般ノ工業上ニ於テ必要ナ
ルハ勿論ニシテ我邦ノ學士モ既ニ此ニ著目數年前ヨリ
專賣條約設ケザル可カラザル所以テ論究シ政府ノ注意ヲ
促シテ現ニ我邦ノ諸製造或ハ器械等備マ改良發明ノ事
アルモ未タ此特許ヲ得ザルガ爲メニ大工人工ノ氣力ヲ衰
弱セシメ該業ノ進歩ヲ得ケザルモノ其偶ニ乏シカラズ聞
ク所ニ依レバ政府ニ於テモ早ク此種條約ノ編制ヲ着手シ
二ノ專賣業ニ成ルルコトアルモノ事無キアリ種々ノ論議
アリモ其專賣業中ニ屬シタルモノニ對シテ政府ノ此條約類
ヲ編制スル所以ヲ察スルニ一旦此法ヲ廢シ之レガ管理
ノ屬シタルモノ其發明ノ條約ノ條約ヲ制定スルノ事
ハ其專賣業中ニ屬シタルモノニ對シテ早ク此種條約ヲ及

世之レガ免許ヲ與フルニ付テ一應免許ヲ得トスルモノ
續々該局ニ蝟集シ來リ遂ニ彼此訴訟ヲ生スル等ノ患アラ
ンコト恐ル、コ由ルモノナルベシト專賣條約ニ關スルノ
事情或ハ然ラン然レハ我輩ノ趣意ハ造酒業保護ノヲメニ
俄カコ右種困難ナル專賣條約ヲ實施セヨト云フコトアラズ
又造酒ノ性質タルヲ專賣條約ノ下ニ屬シテ利益ヲ享ケシ
ムベキモノナリト云フコトアラズ唯商標條約ノ法ニ從テ
此業ヲ保護スベシト云フコト然ルニ又此商標條約ナルモ
ノ一般商業ヲ保護スルノ法律ニシテ特ニ造酒業ノ保護
ヲ目的トスルコトアラズ此條約ヲ設ケントスルコトハ一
般商業上ニ就テ大ニ考察ノ上ナラバ容易ニ手ヲ下スコ
能ハザルベシ而シテ酒ノ有様ヲ見ルコト今日既ニ
屈竟ノ稅源ニシテコレヨリ得ル所ノ稅額ハ地租ヲ除クノ
外日本政府歲入ノ最大部分ヲ占ムルノミナラズ漸ク將ニ
地租ト其金額ノ多少ヲ爭ヒ或ハコレニ凌駕スルノ展望ア
ル程ノモノナレバ該營業ノ保護ハ實ニ一日モ猶豫スベカ
ラザルモノナリ斯ノ如ク急速ノ場合ニ臨ミ一般商業ニ適
用ノ商標條約發行ヲ待テ始メテ造酒業ノ保護ヲ待テシ
テ希望スルハ寧ロ緩慢至極ノ工夫ナリト稱スベシトノ説
モアルベシ此說甚ク道理アリ依テ商標條約ノ發行ヲ急ニ
シテ造酒業保護ノ求ニ應スルコトハ當時容易ニ行ハレ難キ
コトセンカ好シ我輩ハ單ニ酒類賣買ノミニ關スル特別ノ
商標條約ヲ發行スルヲ以テ満足スベシ酒類ハ既ニ商標條
約ヲ要スルニ他ニ何ホコレヲ要セザル商品アリトテ此大
切ナル保護ヲ酒類ニ與ヘザルノ理由ナカレキテ以テ不
急ノ分ハ後ニ廻ハシ先テ其緊要ナル酒類ノ商標ヨリ始メ
ルモノ一般商業上施政上ニ取テ何モ不都合ノコトナカレベシ
果シテ酒類商標條約實行ノ上ハ各地各様ノ造酒ニシテ同
一様ノ外裝ヲナスモ樽蓋裏ノ表面ノ商標ニ依テ眞贋ヲ判
別スルヲ得テ精粗純雜ノ酒類ニ相當ナル價ノ高下ヲ生シ
其精純ナル酒類ニ屬スモノハ自カラ多ク利益ヲ得ルニ至ル
可シ是レ其法律ノ庇保ニ依テ製造上ノ權利ヲ確定スルヲ
得ベキナリ
人又謂ハシ酒類ハ其精粗純雜ヨリ芳味ノ如何ニ至ルマデ
口舌ノ試驗器ヲ以テ之ヲ區別スルモノナレバ他ノ製品ノ
如ク形容ヲ以テ數ク可キコトアラズ何ゾ商標ヲ用フルニ及
パンヤト是又一チ知テ二チ知テザルモノナリ成程一枚ノ
舌ハ以テ純雜ヲ區別スルニ足ルト雖モ製造商賣上最モ實
テベキハ信用ニシテ世間ノ廣キ其名ヲ同クシ其標ヲ同ク
スルモノニ至レバ妄信心醉スル者其人ニ乏シカラズ是レ
世間一般ノ情態ナリ且其價ノ精廉ナルモノニ至レバ力カ
ク其標ヲ取ルモノ一般ノ人皆ニシテ遠ニ祖ニシテ廉ナルモ
ノ能ク精ニシテ不廉ナルモノヲ買スルニ至ル面テ買者
ノ能ク其眞實ナルモノヲ買スルモノ在之アリ知テ之ヲ買

一定ノ商標ヲ付アルハ酒類屋又ハ小賣店ニ於テ各地購
造ノ精粗ヲ混合シ例ハ六圓ノ酒一石ト八圓ノ酒一石ヲ
混合シ其買價十四圓ナルニ之ヲ每一石八圓宛ニテ賣ルキ
ハ則テ一石ニ付一圓宛ノ浮利ヲ得ルモノトス(一般地ノ
利益ヲ算入セズ)此ノ如ク精粗ノ酒ニ價ノ差違ヲ生スル
モ其利益ハ酒類家ニ歸セズシテ酒類屋又ハ小賣店ニ歸シ買者
モ亦價不廉ニシテ粗雜ノモノヲ購フコトナレバ是レ豈ニ酒
造家ヲ保護スル所以ナランヤ我輩トテモ敢テ酒造業ニ私
シ偏ニ之ヲ保護セントスルコトハアラズ則チ一般ノ法律ニ
由テ善真ノ人ト精純ノ品トヲ保庇シ好曲ノ對テ防カント
スルニ過キザルナリ
以上論述スル所ニ從ヘバ政府ニ於テハ別ニ繁雜ナル條例
ヲ設ケルニ及ハス簡單ナル登記法ヲ定メ一局ノ登記所ヲ
設ケ酒類商標ノ制ヲ定ムルキハ各地各様ノ造酒ノ利便區
別シテ互ニ混合スルヲ得ザラシメテ製造者モ之ヲ防禦
スルニ足レバ酒造家ノ便利ハ甚ク大ナルコトナレベシ之レ
ニ加フルコト前日記述シタル酒造家ノ情況ヲ詳ニシテ檢査
ノ方法ト稅額ノ納期等ヲ改正シテラシムルハ仮令稅額ノ
增加スルアルモ酒造家ノ難澁トナハ一モ之アラズシテ却
テ該業ノ進歩ヲ助ケ一般ノ酒客ニ於テモ自カラ價格ト品
質ノ相當ナル飲料ヲ購求ヲ得ルニ至リ往時ノ行ハレ
タル專賣壟斷ノ弊ヲ受クルコトナカレシ是レ豈ニ一舉兩
便ノ策ニアラズヤ讀者以テ如何ト爲ス (完)

雜報

○御慰問 聖上ヨリ過日岩倉右大臣の邸ニ行幸在らせ給
ひて親しく病狀御慰問遊ばされしレ爾來も且夕御心も
させ給ひ昨十二日午前十一時富小路御邸を動せ給ひて
御體を慰問させ給ひさるや承はる
○明宮參内 皇子明宮は十四日午前九時中山道一
郎御出門番板倉屋へ參内られ上 皇上海島御邸へ御體
おるへは御旨出されし
○佐々木工務 先頃中國地方鐵山其地鐵礦としり開
張せし岡崎の御用掛にて昨十二日歸京ありし
○櫻井勉君 野蒜港及北海道へ出張中なる櫻井内務大
臣官の去十日札幌より陸路函館へ向々歸途に就きし
電報ゆりさる由
○岡本豊彦君 過般茶高田自由黨の事件に付テ重傷入
出張中ありし櫻井判判所檢察長岡本豊彦君ハ一昨櫻井
ありたり
○江連潤南氏 本所區の書記ありし潤南氏今櫻井豊彦
多摩郡長に任せられ月給七十七圓と聞はる由
○山崎延引 櫻井判判所檢察長山崎延引氏ハ櫻井判判
所へ歸還せしが櫻井判判所檢察長山崎延引氏ハ櫻井判判
所へ歸還せしが櫻井判判所檢察長山崎延引氏ハ櫻井判判